

学校名	八坂中学校		
ホームページURL	生徒数 46名		
(1) テーマ 「狐火」 テーマの分類() 下記の欄外記載事項を参照してください。	(2) 活動の単位に をつけてください 学級・同一学年・3～4年 5～6年・学校・ その他(個人) 該当学年 年 (回答可能な場合)		
(3) 活動のねらい ・「狐火や人魂など、実際にはありえない火を見たことがある」という話を聞き、地域の方からの聞き取りやアンケートをもとに、それは何なのかをはっきりさせる。			
(4) 活動の実際(活動内容、学習方法、学習形態、学習環境等) 活動内容 ・ 地域の方へのアンケート ・ 聞き取り調査 ・ 屋気楼の可能性を探るための実験 学習方法および学習形態 ・ 主として個人追究 ・ 必要に応じて、地域の方や教師が支援する 学習環境 ・ 村内への調査活動のための移動手段の確保のためにスクールバスなどの支援を村から受ける ・ アンケートや聞き取り調査のまとめのためのコンピュータの活用 ・ 実験の材料の準備、支援等 時数(36)			
(5) 指導体制(校内体制、地域人材の活用、安全面での配慮等) 校内体制 ・ 全職員による指導体制の中での活動。全校生徒の活動状況を常に把握できるように一覧化。 地域人材の活用 ・ 村の有識者への支援依頼、教育委員会との連絡体制の確立、村の分化ステーションの活用等。 安全面での配慮等 ・ スクールバス、村の公用車での村内取材。			
(6) 指導上の留意点(時間数の取り扱い、各教科との連携、家庭・地域との連携等) 時間数の取り扱い ・ 授業時数の中での活動を主体とし、不足の部分は放課後、休日の時間にて補った。 各教科との連携 ・ 今年度は特になし。 家庭、地域との連携等 ・ 中間発表会を行い、村内に公開した。 ・ 文化祭での本発表を村内に公開した。 ・ 公開の都度、感想を頂き、活動に生かした。			

(7) 評価（基本的な考え方、評価の内容及び方法、評価の実際）

基本的な考え方

- ・ 生徒の主体的な活動を目指し、活動の経過・活動の様子などをプラス思考にて評価できるようにする。

評価の内容及び方法

- ・ 調査活動の記録、まとめや発表の内容などをノートやパソコンのデータとして蓄積し、評価していく。（ポートフォリオの利用）

評価の実際

- ・ 個々への言葉がけ、通知票への文章記述を通して、生徒に返るようにする。

(8) 成果と課題

村内の方々の協力のおかげで、アンケートや聞き取り調査で情報が集まり、生徒の思考が深まった。

教育委員会、村文化センターなどの協力のおかげで、研究・調査活動が深まった。

調査を進める中で、より専門的で詳しい知識が必要となった。教師ができる限り補ったが、より広域のネットワークが利用できるようになるとよい。

テーマの分類 横断的・総合的な課題（
ーア 国際理解 ーイ 情報 ーウ 環境
ーエ 福祉・健康 ーオ その他） 児童生徒の興味・関心に基づく課題 地域や学校の特色に応じた課題